

個人質問

議会事務局 処 理 欄	令和7年11月13日 16時29分 受付
	質 問 順 位 第 12 番

武豊町議会議長 石川 よしはる殿

武豊町議会議員 梶田 進

一般質問の通告について

令和7年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 令和8年度 予算編成について	【趣旨説明】 新しく町長に就任した、鳥羽悠史町長初めての本格的予算編成を執られるに当たって、10月1日に各部・各課等の長あてに「令和8年度予算編成方針について」(通知)を総務部長名で出されました。 町長は「予算編成方針」の問題点として、人口減少、国民負担増、町税減少、扶助費増、建設費の高騰、人件費の高騰等が大きな負担となっており、これらの要因から財政が比較的豊かといわれる不交付団体においても財政非常事態宣言が出される団体が出てきていると、自治体の財政悪化を危惧しています。武豊町も同様であるとしています。 武豊町の現状は、変えられるべきタイミングを逸した。町長になって町財政が危機的な状況であることを痛感したことから、責任をもって財政状況の公開、正しい改革を行っていく。今こそ武豊町を立て直す最後の機会。そのために、町長に就任した強い覚悟をもって、全職員と危機的状況にあることを共有し財政を立て直していく。 「ピンチは最大のチャンス」ととらえ、時代に合わせて既存事業の廃止・縮減、新規事業の開始を進め、住民サービスを向上させながら行財政改革を強く推進することが必要。 令和8年度予算編成でも既存事業を見直し、業務を進めながら、令和9年度にはすべての事業の見直しをする必要がある。 将来負担を考えなかった箱物行政による公共施設の維持費も、大きな財政負担となっています。公共施設の統廃合、複合化を進めていき維持費を下げながらも、これまで以上に便利な公共施設にしていくことが必要。この内容は、行政が安易に進めた箱物行政に、議会が追随したとも受け取れる内容で、行財政改革に名を借りた議会批判であり、削除を求めます。 町長のいう行財政改革を実施していくためには、AI・DXといったデジタル化技術を活用した業務効率化を行い、少ない人数でも行政を回せるスマートな行政を目指していく必要があるということから具体的に何を行おうとしているのか、以下質問します。

【質問事項】

- ①これまでの町政を継続した場合、令和12年度に財政調整基金がマイナス4億円になると予測されるとされていますが、なぜ、このような事態になるのですか。
- ②AIが対応できる業務を増やしていき、日本で一番AIを活用する「町」をめざすとされていますが、これまで「日本で一番税金の安い町」「知多半島で一番子育てがしやすい町」と一番にこだわってきていますが、令和8年度予算編成時にはどのように対応されますか。
- ③DX導入で「書かない窓口」「行かない窓口」を実現可能な部分から確実に推進していき業務効率化をしながら、住民サービスの向上を行うとしていますが、具体的な方策はどのようなものですか。
- ④効率化することで、人件費の高騰の抑制、将来的に少ない人数で運営できるスマートな行政を目指し、将来の公務員不足に備える第一歩とする。この予測の根拠は何ですか。
- ⑤AI・DX導入のための初期投資費用の見積もりはいか程になりますか。また、町長の考えている業務の範囲における達成年度は何年ごろになりますか。
- ⑥行財政改革として、全事業に順位をつけ、廃止する事業、縮減する事業を検討する。常識にとらわれずに、町長が変わったタイミングにしか変えられないことを考えること。
町長が変わったタイミングにしか変えられないということは、町長から一定の基準が、職員全体に示されていますか。
- ⑦外部人材の活用、民間人の活用を積極的に取り入れる としているがどのような業務を考えておられますか。
- ⑧明確な根拠のない業務委託は行わない としていますが現在の人員、業務内容でどの程度委託業務の削減ができるのか、目標は持っていますか。